

世論調査

環境と暮らし 2022

報告書

(2022年4月20日～5月24日調査)

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果 (i) 単純集計	4
	(ii) 概要	8
	(iii) 集計表	30
	(iv) 記述回答	59
III	調査票	68

一般社団法人 長野県環境保全協会

一般社団法人 長野県世論調査協会

本調査は、一般社団法人・長野県環境保全協会と一般社団法人・長野県世論調査協会の共同調査です。
両協会は 2000 年から環境問題をテーマに共同調査を続けています。

I 目的・設計・回答状況

目 的

地球環境保全が課題となる中、SDGs（持続可能な開発目標）や太陽光発電、プラスチックごみ削減などへの関心は、県内でも広がっています。本調査は、県民が環境問題をどう捉えているか、また、どんな施策が求められているか、現状を探り、考えるきっかけとします。

設 計

- ▽調査期間 2022年4月20日～5月24日
- ▽調査対象 長野県内に住む18歳以上の男女800人
- ▽抽出方法 層化三段無作為抽出法。選挙人名簿から無作為抽出
- ▽調査地点 19市6町7村の計32市町村
- ▽調査方法 郵送（回収はファクス、インターネットも併用）

回答状況

- ▽有効回答 430人 （男性216人 女性214人） 回答率53.8%

[回収方法別の内訳]（）内は比率

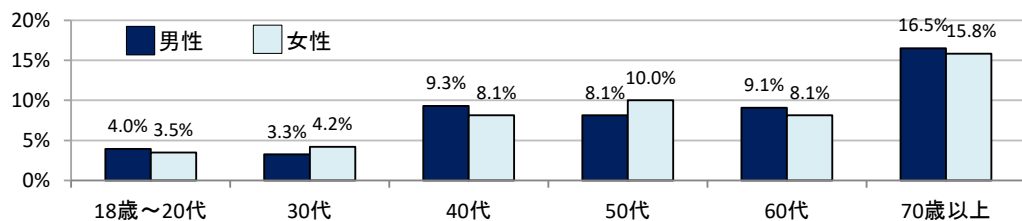
- 郵送 327人（76.0%）
ファクス 15人（3.5%）
インターネット 88人（20.5%）

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

有効回答の内訳

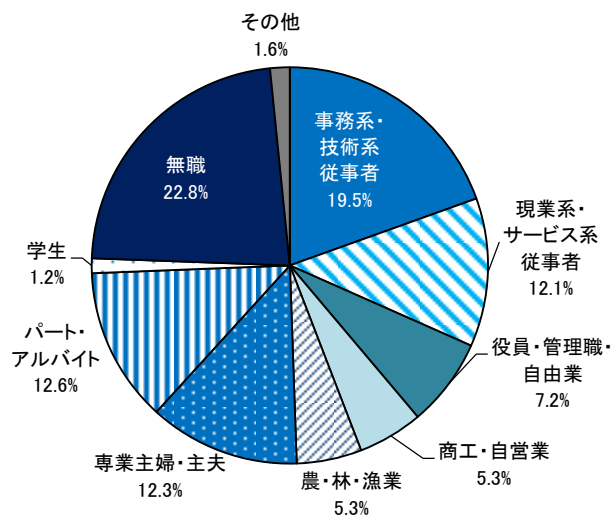
【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	430	32	32	75	78	74	139
	100.0%	7.4%	7.4%	17.4%	18.1%	17.2%	32.3%
男性	216	17	14	40	35	39	71
	50.2%	4.0%	3.3%	9.3%	8.1%	9.1%	16.5%
女性	214	15	18	35	43	35	68
	49.8%	3.5%	4.2%	8.1%	10.0%	8.1%	15.8%



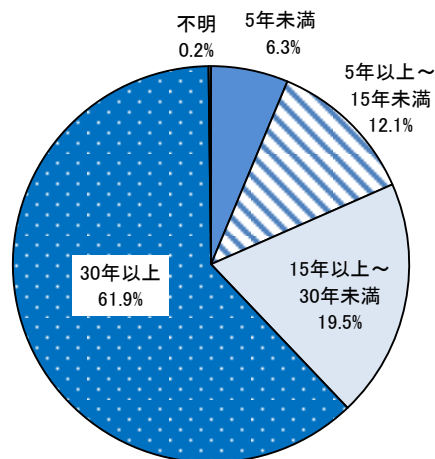
【職業】

事務系・技術系従事者	84	19.5%
現業系・サービス系従事者	52	12.1%
役員・管理職・自由業	31	7.2%
商工・自営業	23	5.3%
農・林・漁業	23	5.3%
専業主婦・主夫	53	12.3%
パート・アルバイト	54	12.6%
学生	5	1.2%
無職	98	22.8%
その他	7	1.6%
全体	430	100.0%



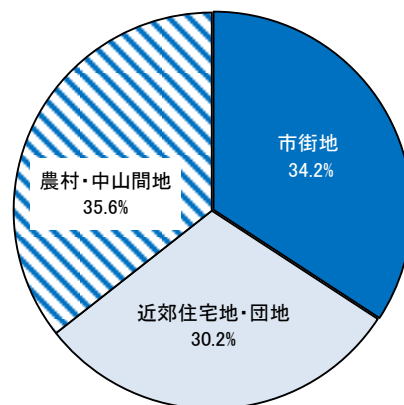
【居住年数】

5年未満	27	6.3%
5年以上～15年未満	52	12.1%
15年以上～30年未満	84	19.5%
30年以上	266	61.9%
不明	1	0.2%
全体	430	100.0%



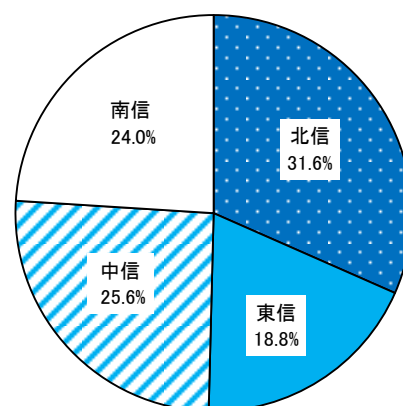
【地域性】

市街地	147	34.2%
近郊住宅地・団地	130	30.2%
農村・中山間地	153	35.6%
全体	430	100.0%



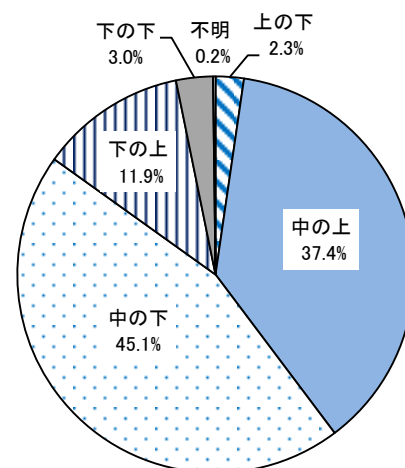
【地域】

北信	136	31.6%
東信	81	18.8%
中信	110	25.6%
南信	103	24.0%
全体	430	100.0%



【暮らし向き】

上の上	-	-
上の下	10	2.3%
中の上	161	37.4%
中の下	194	45.1%
下の上	51	11.9%
下の下	13	3.0%
不明	1	0.2%
全体	430	100.0%



エシカル消費

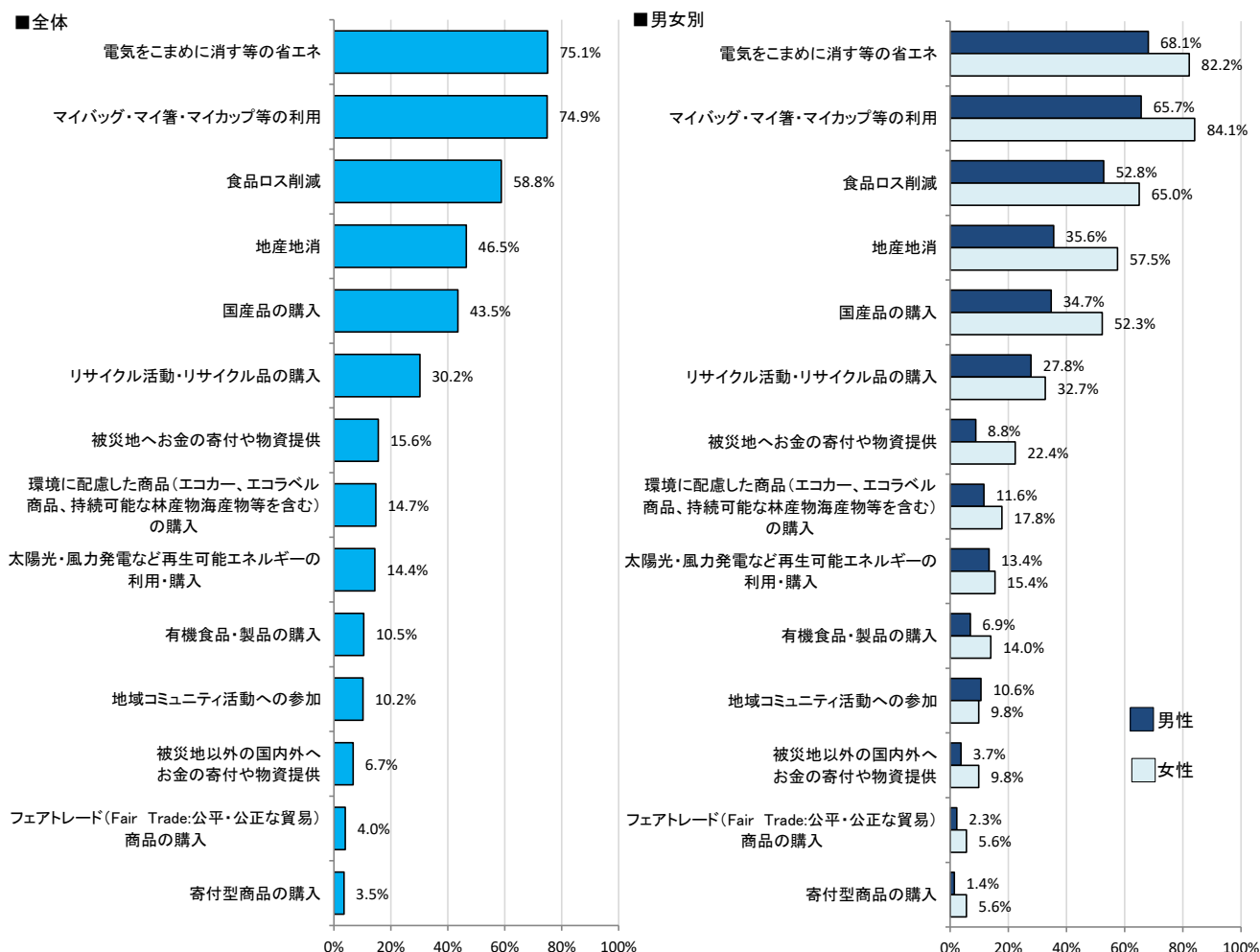
問19 あなたは、次に挙げるエシカル消費(※)につながる行動について、実践しているものがありますか。あてはまるものを全て挙げてください

◆「電気をこまめに消す」「マイバッグ等の利用」4人に3人

集計表49～50ページ

エシカル消費に繋がる行動について、実践しているものを複数回答で挙げてもらった。「電気をこまめに消す等の省エネ」が75.1%、「マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用」が74.9%で並び、「食品ロス削減」が58.8%、「地産地消」が46.5%、「国産品の購入」が43.5%で続く。

ほとんどの選択肢で女性の方が実践度が高く、最も差が大きかったのは「地産地消」の21.9ポイント差。



※ エシカル消費 地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

キーワード 知っていますか

問23 あなたは、環境問題に関する次のことば（用語、キーワード）を知っていますか。知っているものを全て挙げてください

◆「再生可能エネルギー」71.9%

集計表54～55ページ

最多は「再生可能エネルギー」の71.9%で、「バイオマス」が61.6%、「SDGs（持続可能な開発目標）」が58.8%、「マイクロプラスチック」が53.5%と、上位4項目が半数を超えた。「SDGs」は前回調査から14.9ポイント増加した。以下「ゼロカーボン」48.8%、「森林環境税」30.7%、「ダイバーシティー（多様性）」30.5%と続く。

年代別では、「SDGs」は若年層ほど高く18歳～20代は84.4%。70歳以上は33.1%と低いものの、前回調査から14.1ポイント増加しており、認知度の向上がみられる。

